

横浜市大探査会・探検部OB会 <第4回> 日帰り旅行会  
日本の領土と産業遺産を学ぶ旅  
～千代田区・新宿区の知られざる公共施設を見学しました～

概要報告書

横浜市立大学 探査会・探検部 OB 会



～青春とは人生のある期間を言うのではなく、心の持ち方を言うのだ。  
……年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いが来る～  
(Samuel Ullman)

公式横幕

作成・25年9月11日 文責・川尻哲夫

■日時: 2025年8月29日(金): 9:40～17:00頃

■参加者(敬称略):

名和裕美、三浦茂、現役部員(細木陽雲、高橋悠太、高田幸汰)、スティーブン(WEBデザイナー)、川尻哲夫(幹事)

■訪問地とその概要報告

(1) 領土・主権展示館

[HP⇒ 領土・主権展示館](#)

無料

●本来、日本の領土であるべき「尖閣諸島」、「竹島」、「北方領土」の歴史的事実を正しく解説したパネルと動画展示をもとにして、説得力のあるガイドがOB会のために約1時間に亘って解説していただいた。

●とりわけ2つのゾーン、「ヒストリー・ウォール」と「イマーシブ・シアター」は、自分がその場所にいるかのような錯覚を覚えるほどの演出に驚嘆。最近の各種展示館では体験型展示が増えてきているが、多くは有料が普通である。ここでは全て無料であることに感激しました。しかも、OB会への特別ガイド付きと入手しづらい資料をお土産にいただいたことに申し訳ない気持ちとなりました。

●政治的主張やイデオロギーではOB会の皆さんも様々でしょうが、正しい事実を知ることが議論の第一歩であるだけに、個人で家族、友人を誘って行ってみることをお勧めします。ガイドを求めなければ予約は不要です。



(2) 国会議事堂衆議院

無料

[HP⇒ 参観手続](#)

●首都圏で学校生活を送ったOB・OGであれば、一度は国会議事堂を社会科見学で行った経験はあるでしょうが、学び直しの意味で旅のプランに加えました。(1)の施設から歩いて15分であることも好都合。周辺の厳重な警備体制を見学することも、これまた勉強です。



名和OB撮影

**トピックス** [東京駅の建築家・辰野金吾が仕掛けた「国会議事堂」設計をめぐる仁義なき戦い | サライ.jp | 小学館の雑誌『サライ』公式サイト](#)

●ここでもガイドが付いていましたが(特に警備に重点)、実に優しい語り口で、国会議事堂の建物としての価値、見所を解説していただきました。17年の工期の途中には関東大震災にも遭遇しましたが、損傷は少なく、昭和17年に完成しました。さらに東京大空襲の爆撃にも遭っていないことは、アメリカ側には何らかの意図があったのでしょうか。(日銀本館も同様)

床は100万個のモザイクタイル敷き。さらには巻き貝の化石を見ることができる中央広間の沖縄産の内壁。そして荘厳なステンドグラス。まるで“建築博物館”そのものでした。

- 当時の日本が先進国になるべく、ひたすら近代化を突き進む姿を彷彿させます。東京の建築物の中で、「死ぬまでに一度は見学すべき場所」としては、別の機会に訪問する予定の「日本銀行本館」と双璧をなすものと言えましょう。

### (3) 昼食と買い物: 国会図書館の食堂、近くのショップ

参考⇒フードラウンジいい 国立国会図書館【旧店名】国立国会図書館本館 ふじ食堂(永田町・麹町/定食)

参考⇒国会議事堂の名物土産屋「思い出屋」を徹底リポート！使い勝手のいい名品ばかりが揃っています！

### (4) 産業遺産情報センター

HP⇒[情報センターの紹介：産業遺産情報センター](#)

**無料(要予約)** 【館内撮影禁止のため写真掲載は無し】

- 「明治日本の産業革命遺産～製鉄・製鋼、造船、石炭産業～」で世界遺産に登録された23件の構成遺産を客観的事実に基づいてパネルと動画で展示する施設。OB会の訪問に際しては二人の解説員を予約しましたが、それぞれ1時間に亘り丁寧な解説をしていただいた。単に年表展示をなぞることなく、構成遺産が幕末から明治にかけての複雑な時間・空間・人間の交錯がありながらも、日本は国家として僅か50年で産業革命を成し遂げた事実にあらためて感動しました。
- 端島(はしま・通称軍艦島)のゾーンの開設当初は韓国系団体から集団抗議や嫌がらせがあったそうですが、信憑性ある資料を収集し、誤解無き展示を続けることで今は鳴りを潜めたようです。(下の2つのメディア報道を読んだOB・OGは、次はご自分で見学をしてみてください)

**トピックス**

(2つの“角度”)

[なぜ「残念」？ 産業遺産情報センターに行ってみた | オアシスのとんぼ | 澤田克己 | 毎日新聞「政治プレミア」](#)

[「つらい思いさせた」稲葉会長が元島民謝罪も、NHK打診が感情逆なで 軍艦島映像\(上\) - 産経ニュース](#)

＜感想・細木陽雲＞ 先日は旅行会に連れて行ってくださりありがとうございました。領土・主権展示館、産業情報センターで得られる情報はインターネットでも入手できますが、実際に目で見ることで初めて得られる情報や、公的機関が出している信憑性の高い情報が得られた事は重要であり、既にある知識を十分に信憑性の高い情報でアップデートできただけでも今回の旅行会は有意義なものであったと思います。

また、国会議事堂は以前訪問した経験があったものの記憶が曖昧だった為、懐かしさと新鮮さを同時に味わうことができ、楽しく見学できました。この旅行会を参考に今後の探検部の活動を盛り上げていければと思います。改めて、先日は旅行会に招いていただきありがとうございました。

＜感想・スティーブン＞ この度は探検部OB会による日帰り旅行会への参加を呼びかけていただきまして、ありがとうございました。今回は「領土・主権展示館」、「国会議事堂衆議院」、「産業遺産情報センター」の三施設を訪問しました。

展示館では北方領土、竹島、そして尖閣諸島の歴史的背景と併せてその実態を学び、国会では建築の思想に圧倒される一方、現代の政治に対する疑問も抱きました。産業遺産センターでは幕末以降の日本の近代化と精神の強さに感銘を受けました。とりわけ、端島(通称・軍艦島)の歴史を通じ、敗戦国としての主張の難しさに虚しさも感じました。日本と周辺国との関係を見直す重要性を痛感した旅でした。

